

目次ページのイラストについて

P2のイラストは、障害者アート専門の芸術ライブラリーである「アートビリティ」に登録されているMomocaさんの「駅へ」を使用させていただきました。



アートビリティ

社会福祉法人東京コロニーが、障害者アーティストの才能を活かして社会参加を促進するために設立された芸術ライブラリー。作品の使用料がアーティストに還元されます。

Momoca(モモカ)

木版による制作を行なっている。洗練されたデザインと温かみのある作風が特徴。

- 2008年 いつもの場所いつものかたち展(千葉)2人展
- 2009年 染+陶+版=5人展(千葉)グループ展
- 2011年 「エイブルアート・アワード」(東京)個展
- 2012年 「Artbilty meets 10designers展」(東京)出展
- 2013年 「あの夏の記憶展」個展
- 2013年 「第25回アートビリティ大賞 アサヒビール奨励賞受賞
- 2014年 「第26回アートビリティ大賞 アートビリティ大賞受賞
- 2015年 Small Works展(東京)グループ展
- 2015年 アートイベント島根2015(島根)グループ展

お問い合わせ先

綜研化学株式会社
総務人事部、安全・環境・品質保証室

〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
 TEL:03-3983-3171 FAX:03-3988-9216
 URL:<http://www.soken-ce.co.jp>



この報告書は、適切に管理された森林から切り出された木を原料とするFSC®認証紙を使用し、環境に配慮した「植物油インキ」と有害な廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。

本報告書に関するご意見ご感想をお聞かせください。皆さまから寄せられたご意見を今後に反映し、さらに内容の充実を図ってまいります。

▶HPから<http://www.soken-ce.co.jp/contact/form.php> (総合お問い合わせフォームをご利用ください) ▶FAX:03-3988-9216

2016

社会・環境報告書

SOCIAL AND ENVIRONMENTAL REPORT

綜研化学株式会社

はじめに

当社グループは、地球環境保全のために、事業活動において地球温暖化防止と資源循環に積極的に取り組む環境経営を進めており、同時に企業としての社会的責任を担うべく、法令遵守はもとより、内部統制システムを充実させ、社会貢献を行なうことで、社会の公器にふさわしい企業体質の構築に努めています。

本報告書では、ステークホルダーの皆さまへ、その進捗状況についてご報告するとともに、当社グループの活動をご理解いただくことを目指して、財務報告以外の情報について掲載しています。今後とも、事業活動を通して企業としての社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。

対象範囲と期間

本報告書は、当社グループ国内事業拠点(綜研化学、綜研テクニクス)の活動状況を中心に掲載しており、一部、海外グループ会社の取り組みも紹介しています。

実績および取り組み内容は、2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日まで)を対象とし、組織・体制などは2016年4月現在のものを掲載しています。

ガイドライン

本報告書の作成にあたっては、環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」を参考にしています。

INDEX

はじめに	02
経営理念・会社概要 製品とサービス	03
トップメッセージ	04-05
“安全”“環境”を追求し続ける SOKENの粘着剤づくり	06-07
社会的側面	08-13
お客様・お取引先の皆さまとともに	08
株主・投資家の皆さまとともに	09
地域の皆さまとともに	10-11
従業員とともに	12-13
環境的側面	14-20
環境負荷低減のための活動	14
環境単年度計画	15
環境マネジメントシステム	16
環境配慮型製品	17
地球温暖化防止	18
化学物質による環境負荷の低減と臭気・騒音対策	19
事業所データ	20
サイトレポート 中国グループ会社の取り組み	21-23
社会的側面	21
環境的側面	22-23

経営理念

- 一、 私たちは常に誠実であるとともに創造と工夫に情熱と責任を持って挑戦しつづけます
- 一、 地球環境の保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供します
- 一、 お客様には心からの満足を株主の方々には共感をそして私たちは働く喜びを実現していくことに最善を尽くします

会社概要

[社名]
綜研化学株式会社
Soken Chemical & Engineering Co.,Ltd.

[本社所在地]
〒171-8531
東京都豊島区高田三丁目29番5号

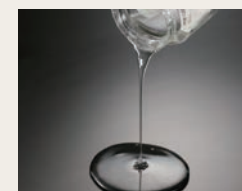
[創立]
1948年9月2日

[資本金]
33億6,156万円

製品とサービス

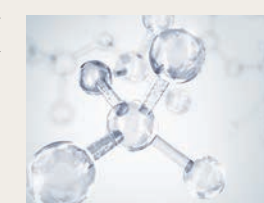
粘着剤

独自の高分子重合技術や評価・分析技術を用いて開発したアクリル系粘着剤は、多種多様な付加機能を備え、300種類以上のラインナップを揃えています。



特殊機能材

さまざまな工業材料に新たな機能を付与する特殊機能材は、電子基板材料や塗料・インクなど幅広い分野で利用され、環境負荷低減に対応した製品開発も行なっています。



微粉体

独自の重合技術により開発された機能性微粒子である微粉体は、粒径によってさまざまな特性を持ち、複合機のトナーや化粧品などに用いられています。



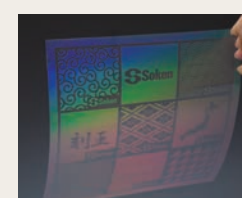
加工製品

粘着剤技術と塗工技術の強みを活かした加工製品は、ガラスや金属の表面保護から光学・電子部品加工用、金属接合まで、幅広く使用されています。



ナノインプリントモールドソリューション

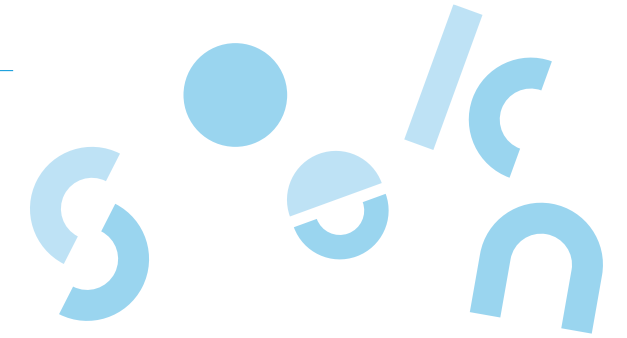
樹脂および金属の金型(モールド)を用いた表面微細加工技術です。今後、光学・エレクトロニクス・医療などの分野で応用が期待されています。



装置・システム

プラントエンジニアリングを中心に、熱媒体の販売や各種メンテナンスなどを組み合わせ、システム化した事業を綜研テクニクス株式会社が提供しています。





社会とともに発展し続ける 企業グループを目指して



当社グループは、「小なりとも最優の会社となって社会に貢献しよう」との創業の精神のもと、独自技術で開発した革新的な製品やサービスの提供により、豊かな社会の実現に貢献することを目指してまいりました。当社グループは、創業以来培ってきた技術力を最大限活用したケミカルズと装置システムの両事業活動を通じ、社会が抱えるさまざまな課題に挑戦するとともに、化学に礎を置く企業として安全を最優先に、法令遵守、環境保全、社会貢献活動などにも取り組み、これからも皆さまから共感し、信頼していただけるための努力を続けてまいります。

新たな価値の創造を目指して

2015年度は、連結中期経営計画「New Value-2016」において重要方針として掲げたアジア地域戦略、新規事業の確立、技術・ノウハウの融合・活用による新たな価値創造をもたらすハイブリッドな製品やサービスの創出に向け、国内外にてケミカルズ事業および粘着加工事業を中心に生産設備能力の増強、インフラの整備に取り組んでまいりました。2016年度につきましては、これまでに整えた基盤を活用し、さらなるステージへの飛躍を図る布石の年と位置付け、中国をはじめとするアジア地域での存在感を高めるための取り組みを継続し、企業価値の向上に挑戦してまいります。

安全を最優先に 地球環境保全を目指して

すべての企業において、安全は最優先しなければならない重要な課題ではありますが、化学を中心に事業展開する当社グループでは、なおさらのことです。そのため、各拠点の生産設備が、地域の特性に応じて多様化している現状を踏まえ、統一した考えに基づく安全規範の徹底、安全・安心に働ける環境の確保に努めております。

同時に、地球環境の保全も重要な責務と捉えております。世界的に地球温暖化が憂慮されるなか、日本では東日本大震災以降、化石燃料への依存度が高まり、CO₂の排出量は増加傾向にあります。CO₂削減と経済成長の両立は日本産業界にとって喫緊の課題であり、当社グループにおいても例外ではありません。そのため、原料購入から開発、製造、販売、物流にいたるバリューチェーンの中のさまざまな場面で、皆さまにご協力いただきながら、環境負荷低減のための活動を行なってまいりました。その結果、確実に成果を確認できるようになってきております。

善き企業市民を目指して

当社グループが企業活動を進めていく上で、各拠点が立地する地域との融和は不可欠な条件だと考えています。このため、ボランティア活動をはじめとし、地域イバ

ントへの参加や小学生向けの理科教室開催などを積極的に支援するとともに、地域の安全・安心を確保するため、自らの防火・防災に加え、災害発生時における地域支援体制の強化を進め、地域から頼られる存在となることを目指してまいります。

また、企業活動の根幹を支える従業員については、経営理念に示す「働く喜びの実現」に向けて、働きやすい職場環境を目指した諸施策を展開し、とりわけ心身の健康増進に注力してまいりました。さらに、従業員一人ひとりが役割と責任を全うし、社会に自発的に関わり貢献できる人材となるよう取り組みを進めてまいります。

本報告書では、日本国内はもとより、安全・環境問題等への関心が高まっている中国における当社グループの取り組みについても、一部ではありますがご紹介しております。

今後とも、社会とともに発展し続ける企業グループを目指し、適切な企業統治の推進・徹底を図り、皆さまからご信頼いただき、ご期待にお応えできるよう、なお一層努力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役社長

逢坂紀行

“安全” “環境” を追求し続ける SOKENの粘着剤づくり

当社グループでは、基幹技術である「ポリマー設計」技術と「設備設計」技術をもとに、お客様に高品質の製品・サービスをお届けしています。今回は主力製品である粘着剤の製造工程を簡単に説明するとともに、その中で進めている安全・環境に配慮した取り組みの一部をご紹介します。

安全 安全に配慮した工夫 **環境** 環境に配慮した工夫



開発・生産技術

環境
環境対応型粘着剤

シックハウスの原因物質を含まないノントルエンタイプや、有機溶剤を使用しないエマルジョンタイプなど環境や人に配慮したさまざまな粘着剤を開発しています。



環境 **安全**
生産技術

研究室のフラスコサイズから工場で大規模生産できるように、安全で効率的な製造処法を追求しています。



購買

環境
環境負荷低減に配慮した原材料等を積極的に購入しています。



環境
一括大量購入

原材料等を一括で大量に購入することで、輸送にかかる環境負荷を低減しています。

製造

安全
自動制御システム

自動化によって確実な生産と作業の軽減を実現します。



環境
生産計画

多品種生産を可能にするために、効率的な生産計画を立て、洗浄液やエネルギー消費を削減しています。

環境 **安全**
かくはん
攪拌装置 (Hi-F ミキサー)

効率的な攪拌により、エネルギー使用量を削減します。



安全
自動充填機

自動充填による作業負荷低減と、重いドラム容器を安全に移動させることができます。



環境
ドラム容器リユース

容器内に内袋を施し、ドラム容器の再利用をしています。



環境
洗淨液の再利用

洗淨液を再生処理して、再利用します。



検査

環境
検査機器

新たな機器を取り入れ、従来に比べサンプル量と計測時間を削減します。



安全
安全ゴーグル・手袋

各工程において安全ゴーグルや手袋等の使用を義務付け、作業者を化学品による薬傷から守ります。



出荷

環境
ドラム容器のリンクシステム

製品を納入後、空になったドラム容器を回収して再利用します。



環境
バッテリー式フォークリフト

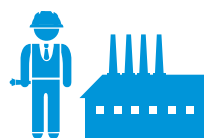
排気ガスを排出せず、騒音も出ません。



お客様のもとへ

安全
安全パトロール

安全管理者等による定期的なパトロールで工場の設備と作業の安全を確保しています。



安全
年2回の
防災訓練の実施

狭山・浜岡事業所では、地元消防署の指導・協力の下、定期的に防災訓練を実施しています。



狭山事業所防災訓練

浜岡事業所防災訓練

お客様・お取引先の皆さまとともに

当社グループは、「お客様・お取引先の皆さまとの信頼関係を大切にすること」を信条とし、お客様にとっての「一番身近な存在」であり続けたいと考えています。また、お取引先の皆さまとは、相互発展に向けて良い関係を築いていけるよう努めています。

お客様へ確かな信頼をお届けするために

お客様の期待に応える魅力ある製品とサービスの提供を実現するため、革新的な製品開発と安全で安定した品質を確保するための生産体制強化に取り組んでいます。

品質方針

- 1 顧客満足度の絶えざる向上を目指し、品質マネジメントシステムの実践とその有効性を継続的に点検し、顧客の期待に応える魅力ある製品とサービスを提供します。
- 2 法令・規制要求事項の遵守は当然のこととして、顧客の品質に対する要求事項を満たすことが、顧客からの信頼を確保する上で重要であるとの認識を社内に徹底します。
- 3 品質方針と整合した品質目標を設定し、その見直しを含めた目標管理の仕組みを作り、実践します。

お取引先の皆さまとのパートナーシップで

お取引先の皆さまとは公正公平な取引のもと、お客様に製品を安定して供給するため、良きパートナーとして信頼関係の構築に努め、ご協力いただいています。

お取引先様からのメッセージ

NAGASEグループは、ケミカルバリューチェーンにおいて、製造・加工機能および研究開発機能を有す「商社の枠を超えたユニークなビジネスモデル」で価値創造に取り組んでいます。綜研化学様とは日本のみならず中国・タイなどでお取引させていただき、環境負荷低減の材料等をご提案させていただいております。今後も、良きパートナーとして、共に社会のニーズに応え、そして社会の持続的発展に貢献していきたいと考えております。



長瀬産業株式会社
取締役 兼 執行役員
佐藤 幸平 様

お客様からの信頼にお応えします

購買部門では、お客様に安定した品質の製品をお届けするために確実な原材料調達を第一と考えています。自然災害等、不測の事態においても製品提供が行なえるよう調達ルートの確保に努めています。また、日頃からお取引先の皆さまには、お客様のご要望にお応えするため、原材料の迅速なデリバリー対応をいただき、深く感謝しております。これからも、お客様と当社グループ、そしてお取引先の皆さまの関係がより大きく発展していきますように努めてまいります。



購買部長
関口 勉

株主・投資家の皆さまとともに

当社グループは、経営理念に「株主の皆さまからの共感を実現していくこと」を掲げ、適時適切な企業情報開示で、信頼性と透明性の保持に努めています。

IR活動

経営の透明性を高め、企業としての説明責任を果たすため、各種IR活動や情報開示ツールを通じて株主・投資家の皆さまに情報をお届けしています。

ディスクロージャーポリシー

当社は、金融商品取引法等の諸法令ならびに上場取引所の「有価証券上場規程」に定める会社情報の適時開示に関する規定に沿って、情報開示を行なっています。また、開示基準に該当しない情報につきましても、投資家の皆さまのご理解の一助となると判断した情報は、積極的かつ公平に開示を行ないます。情報の開示は、東京証券取引所のTDnet（適時開示情報伝達システム）を通じての公開後、速やかに当社ホームページに掲載しています。それ以外の情報につきましても、同様にホームページへの掲載等により随時公開します。

ビジネスレポート

中間、期末の年2回、事業活動の概況をお届けしています。



決算説明会

中間、期末の決算発表後に機関投資家、証券アナリストの皆さまを対象に説明会を開催しています。



FACTBOOK

投資分析に必要な情報を掲載しています。



ホームページ

迅速な情報開示に加え、展示会出展情報なども随時公開しています。



株主懇談会

毎年定時株主総会後に、当社技術や製品を身近に感じていただけるよう、株主の皆さまとの懇談の場を設け、さまざまなお質問にもその場でお答えしています。



地域の皆さまとともに

当社グループは、事業活動を通じた社会貢献と事業所が所在する地域との積極的な交流に努め、社会との共生を図るため、さまざまな活動を行なっています。

身近な科学を体験してもらう

子供たちに科学技術に興味を持ってもらうことを目的として、身近な道具で楽しく実験を行なう理科教室を2008年度から開催しています。2015年度は「電気」をテーマとして、レモンやキャベツから電気を作る実験などを行ないました。



理科教室の先生の声

さまざまな発電方法を学んでもらおうと「電気の変換(発電)」をテーマに企画しました。わかりやすい説明とは何か、試行錯誤を重ねましたが、当日子供たちが楽しそうに実験に取り組んでおり、とても嬉しかったです。こうして無事終わることができたのは、スタッフのチームワークと地域の皆さまのご協力のおかげです。この理科教室を通して、子供たちが少しでも科学に興味を持ってもらえたらいいと思いました。



粘着・機能樹脂部
技術 G

近藤 彩加

社会参加促進への取り組み

一般の雇用関係に入ることが難しい方への社会参加促進として、2015年度株主懇談会で配布したノベルティー「しおり」の封入作業等を目白福祉作業所に依頼しました。目白福祉作業所は、就業と生活の支援を通じて利用者の自立を助長し、社会への参加促進と支援を目的とした通所施設です。今回依頼した「しおり」の封入は、他の作業に比べて難しいとされていましたが、作業の方々には「大きなやりがいになった」とお言葉をいただきました。今後も相互発展に向けて協力できるよう努めていきます。



作業中の様子

綺麗に封入されたしおり

学生向けの事業所見学会

狭山事業所、浜岡事業所では就職を考えている高校生に就業意識を高めてもらうことや、化学産業への理解と興味を深めてもらうため、近隣高校からの事業所見学を受け入れています。また、大学生には、当社を題材とする企業研究に関する講座などへの協力のため、狭山事業所の見学を受け入れています。



地域交流・ボランティア

地域交流を兼ねたボランティアやイベントに積極的に参加しています。



入間川七まつりクリーンボランティア

入間川クリーン作戦

第11回御前崎市駅伝大会

献血活動

30年にわたる積極的な献血活動への協力に対して、日本赤十字社より狭山事業所に感謝状が贈呈されました。



献血活動を通して

献血活動は、社会の一員として当然かつ重要な責任でもと考えております。狭山事業所に加え、浜岡事業所でも10年を超える実績があります。献血できるということは社員が健康であることの証でもあり、今後も社員の健康を維持し、40年50年と継続していきたい活動の一つです。



総務人事部長
泉浦 伸行

地域の皆さまとの共生

狭山事業所 狭山事業所では、近隣の皆さまが大規模地震・大型台風・竜巻等の天災により住居被害を受け、避難が必要となるケースが生じた場合を想定し、建物の一部を避難所として提供できるように整備するほか、防火用水の提供などもできるように整備しています。

浜岡事業所 浜岡事業所では、御前崎市および近隣の牧之原市の消防団協力事業所認定を受けており、緊急時には、消防団所属の従業員は、地元消防活動を優先できるようにしています。

従業員とともに

当社グループは、経営理念にある「働く喜び」を実現するため、従業員を最重要なステークホルダーと考え、全従業員がより働きやすいと感じる職場環境を目指して、さまざまな支援制度や取り組みを設けています。

従業員健康と安全のために

産業医による講演と健康セミナー

産業医による講演や、健康保険組合による健康セミナーを定期的に行ない、健康に関する正しい知識を得る機会を設け、健康への意識を高めています。



ストレスチェックと国内全事業所でのカウンセリング

当社グループでは法令に先んじてストレスチェックを年に1度実施しています。また、全事業所に専門のカウンセラーを配置し、従業員の心の健康をサポートしています。



労働安全衛生への取り組み

当社グループでは、各事業所において安全衛生委員会を毎月開催し、職場安全衛生の維持・改善に努めています。2015年度は狭山事業所が休業災害の防止に努めた事業所として、社団法人所沢地区労働基準協会より表彰されました。今後も事故のない事業所を目指し、安全操業に努めます。

無災害期間:2010年3月31日~2015年12月4日
無災害時間:207万時間



従業員の“持てる力”を発揮するために

各種研修制度

全ての従業員が「働く喜び」を実現するために、さまざまな人材教育制度を導入しています。「新入社員研修」や「階層別研修」はもちろん、「技術安全研修」や「専門教育」などさまざまな方面で能力を発揮し、活躍できるようにサポートしています。

表彰制度

組織の活性化や従業員のモチベーション維持向上を目的として、日々の業務への取り組みや成果など、全社の模範となる活動を称える表彰制度を導入しています。毎年創立記念日である9月2日に永年勤続者とともに表彰を行なっています。



社内クラブ活動・イベント開催

従業員同士のコミュニケーションをより活発にするために、社内クラブ活動(綜和会)のサポートや、全社イベントの開催などを積極的に行なっています。



ワークライフバランスの推進

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現を目指し、仕事と家庭の双方が充実できるように、月2回の定時退場の実施や、育児・介護支援制度の拡充など、従業員が働きやすい環境づくりに努めています。

育児休業取得者の声

長男を出産し、育児休業を取得しました。育児は大変ですが、子供がだんだんと表情豊かになり笑顔が増えていくのを見ると疲れも吹き飛びます。育児休業中は、仕事する時と切り替え、親孝行をしたり、家族旅行に行ったり、大切な一年間を過ごしました。現在、復職してからは時短勤務を選択しています。働きながら育児のできる環境に感謝しています。



熱媒部 熱媒営業 G
何 倩男

Column

綜研化学のイクメン



当社グループの“仕事と家庭の両立ができる支援制度”について、育児休業・看護休暇の取得経験がある男性従業員に聞きました。

中島：看護以外に予防接種、健康診断受診も対象です。さらに綜研化学の育児休業規定では、子の対象年齢が法令よりも長く、小学校卒業まで適用されます。有給休暇とは別に、看護休暇を取得できるのでとても助かっています。

永守：そうですね。定期健診でも使えるのは助かります。

Q お二人はどんな制度を利用したことがありますか？

永守：昨年末から約1か月間、育児休業を取得しました。綜研化学でも男性の取得者があまりいないようなのですが、問い合わせたところ、希望通りに申請が受理されました。

Q 実際に制度を利用してどうでしたか？

永守：育児休業期間中に妻と子供と一緒に過ごした時間は人生でかけがえのないものとなりました。さらに育児の勉強ができ、将来のことなどじっくり考える時間ができたことで私自身の成長にもなりました。

Q それぞれ制度を利用するにあたり、大変だったことはありますか？

永守：半年前から仕事の調整を進め準備をしました。同じ部署の方にはご迷惑をおかけしてしまうのではないかと思います、勇気が要りましたが、快く対応していただいたので、安心して休むことができました。

中島：育児休業、看護休暇の他にフレックスタイム制もあるので、仕事と家庭の両立がしやすいと思います。あとは取得者と職場の方々との関係を構築することで、取得することを理解してもらうことができます。お互いに気持ちよく仕事ができるように努めています。

中島：私の場合、子供の体調不良などで突発的に休むことが多いので1週間の予定を部署内で共有するようにしています。そうすると自分も職場の方々も仕事の進捗状況がわかるので、調整がつけやすくなります。あとは、日頃から相談しやすい人間関係を築いておくことが重要です。



研究開発センター
知財・研究管理室 研究管理 G
中島 豊

安全・環境・品質保証室
永守 学

永守：私は今後、看護休暇を取得することもあると思いますが、看護でない申請できないのですか？

環境負荷低減のための活動

当社グループは経営理念に「環境保全を指向しつつ社会に役立つ革新的製品を提供する」を掲げ、以下に示す環境方針に則り、自主的、積極的に環境に配慮した企業活動を行なっています。

環境方針

綜研化学グループは、独創的な研究開発・技術を追求する研究開発型企業として、粘着剤、微粉体、特殊機能材等の高機能ケミカルズ、それを応用した加工製品及び装置関連事業等の事業領域で、環境保護を指向した製品を開発し、生産・販売活動に努めます。社員一人ひとりが地球環境に配慮した企業活動を行い、環境保全に努め、社会に貢献します。

基本方針

- 1 全員参加のもとに環境保全活動を進め、継続的な改善と環境汚染の予防に努めます。
- 2 関連する法令等の要求事項を遵守するとともに、高い倫理観と良識をもって社会的責任を果たします。

行動指針

- 1 事業活動や製品が環境に与える影響を評価し、環境改善の目的及び目標の設定と、見直しを含め環境改善を進めます。
- 2 省エネルギー活動を主体とした「地球温暖化防止」と3R（リデュース、リユース、リサイクル）による「資源の循環」に取り組みます。
- 3 化学物質による汚染の防止など、環境リスクの低減に努めます。
- 4 環境にやさしい製品の開発に努めます。

2015年3月12日 綜研化学株式会社



環境単年度計画

2005年に策定した第一次環境中期計画以降、中期的な観点で環境保全活動を推進してきましたが、2015年度より単年度計画に変更し、実行しています。

環境単年度計画 2015年度の目標と結果

評価 ○:達成 ×:未達成

		目標	2015年度実績	評価
環境配慮型製品売上高比率向上の推進		売上高比率 13.9%	売上高比率 15.1%	○
地球温暖化防止の推進	(1)粘着剤製品・特殊機能材製品	環境効率 ¹ 8.37	環境効率 8.77	○
	(2)微粉体製品	環境効率 0.21	環境効率 0.19	×
	(3)加工製品	環境効率 0.78	環境効率 0.21	×
	(4)非生産部門	CO ₂ 排出量 ² 2,292t	CO ₂ 排出量 ² 2,111t	○
化学物質による汚染防止および環境リスクの低減		(1)廃棄物量削減、再資源化対策の実施 (2)臭気・揮発性有機化合物(VOC)発生源対策の実施	●廃水減量設備によるE型廃水の削減(狭山) ●ドラム缶用ポリシールキャップの分別回収による再資源化(浜岡) ●工程を見直し、新規洗浄溶剤購入量削減による廃棄物の減量化(狭山)	○

*1 環境効率

$$\text{環境効率} = \frac{\text{生産量} \cdots \text{グループ内生産量 (t)}}{\text{生産時の環境負荷} \cdots \text{CO}_2 \text{ 排出量 (tCO}_2\text{)}}$$

*2 電力の使用によるCO₂排出量

2015年度社会・環境報告書では、電力を供給している電気事業者毎の経済産業省の公表値のうち、平成24年1月17日公表の値を用いて全ての年度の排出量を算出していましたが、今年度は各年度の公表値を用いて、排出量を算出しています。

単年度計画の重要課題3項目のうち「環境配慮型製品売上比率向上の推進」、「化学物質による汚染防止および環境リスクの低減」の2項目については、目標を達成しました。しかしながら、「地球温暖化防止の推進」において、粘着剤製品・特殊機能材製品の環境効率と非生産部門のCO₂排出量では目標を達成できなかったものの、微粉体製品および加工製品の環境効率では生産量が低下したため未達となりました。

マテリアルフロー

マテリアルフローは、事業活動に対する資源やエネルギーの投入量(INPUT)、製品の生産量と環境負荷物質の排出量(OUTPUT)の関係を表したものです。当社グループの環境負荷の全体像を示しており、これらの結果をふまえ、より一層の資源の有効活用を進めます。



環境マネジメントシステム

当社グループの環境マネジメントシステムへの取り組みは、2002年3月の狭山事業所での認証取得に始まり、それぞれの部門において、環境負荷低減を目的とした活動に取り組んでいます。

環境管理責任者より

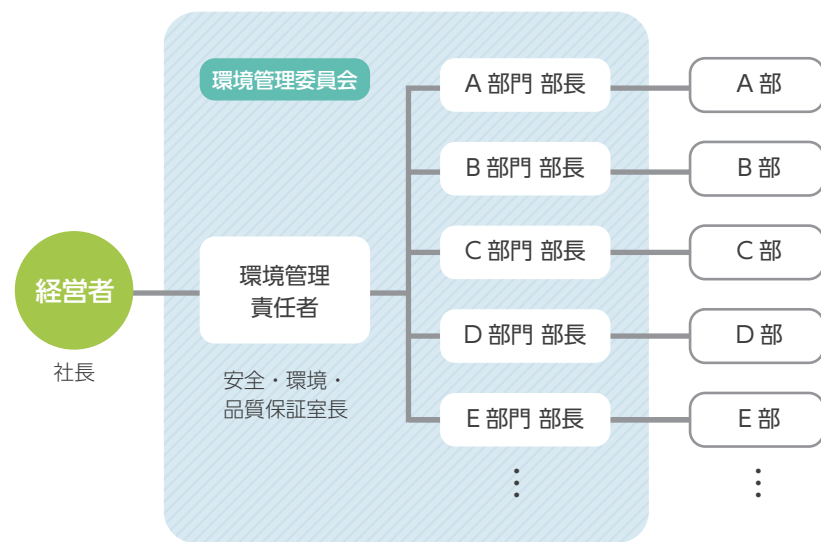
2015年度は、環境マネジメントシステム(ISO14001)の規格改訂に向けて、要求事項として明確になった『事業プロセスと環境マネジメントシステムの統合』を実現させるため、新たな体制で取り組んできました。また、省エネ法に関しては、当社が『特定事業者』に、狭山事業所および浜岡事業所が『第二種エネルギー管理指定工場等』にそれぞれ指定されたのを受け、さらなる省エネルギー活動に取り組む必要が出てきております。そのため、狭山事業所、浜岡事業所それぞれで工夫を凝らし、省エネルギー活動を展開しています。今後もトップダウンでの環境マネジメントシステムとボトムアップからの改善活動(小集団活動)の双方をツールとして活用し、環境保全活動を推進してまいります。



安全・環境・品質保証室長
(環境管理責任者)
榎本 稔

環境マネジメントシステムの推進体制

これまで、国内事業拠点である本社、狭山事業所、浜岡事業所それぞれを活動単位としたサイト制により、それぞれの特性に応じた独自の活動を展開してきました。2015年4月からは推進体制を職制に基づく体制に変更し、規格改訂で追加された要求事項である「組織の事業プロセスへの環境マネジメントシステムの統合」に合致するようにしました。環境マネジメントシステム全体の管理は、経営者の社長から任命された環境管理責任者が行ない、各職制の長が活動の方向性を定め、環境活動を推進しています。



環境苦情*1 (総発件数 1件:狭山事業所)

狭山事業所において、狭山市役所から「社員寮玄関脇の植木が道にはみ出して通行の邪魔になっている」という通報を受けて、環境管理責任者としてこれを環境苦情としました。植木の手入れが遅れていたため、今後は植木剪定の頻度を高め、再発防止に努めます。

*1 環境苦情
近隣住民の方、お客様、お取引先様、行政等からの環境に関する指摘を指します。環境苦情が発生した際には、原因究明と再発防止策を実施しています。いただいたご指摘は環境苦情に登録して環境保全活動に活かしています。

環境不適合*2 (総発件数 1件:浜岡事業所1件)

浜岡事業所において、保健所の立ち入り調査の際、原料管理委託先に対し、毒物及び劇物取締法に基づく登録不備の指導を受けました。関連する行政機関と協議した結果、管理委託先だけでなく浜岡事業所も必要とされる毒劇物の一般販売業登録を行ない対応しました。

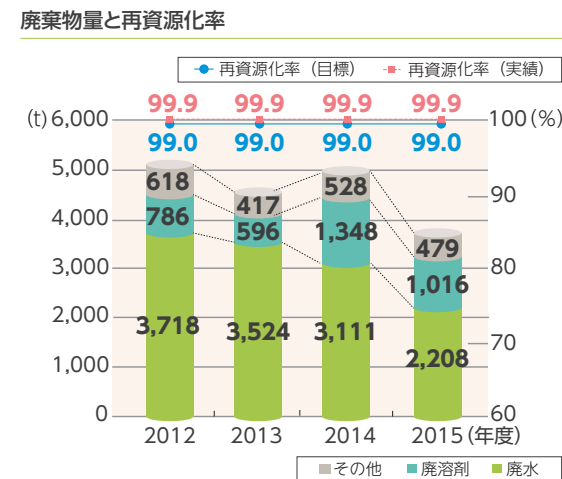
*2 環境不適合
環境マネジメントシステムで定めたルールに違反していることを指します。環境不適合が発生した場合も、環境苦情と同様に原因究明、再発防止策を実施しています。

廃棄物削減・資源循環の推進

2009年度に達成したゼロエミッション*3を2015年度も継続しています。再資源化率は2010年度以降継続して99.9%を維持しています。

廃棄物の総発生量は3,703tで、対前年度比26%減でした。内訳では特に廃水が29%減少しており、2015年度に稼働を始めた廃水減量設備の導入効果と考えています。今後もゼロエミッション継続と廃棄物の総発生量の削減に取り組めます。

*3 ゼロエミッション
当社グループでは、「事業活動で生じた全廃棄物のうち、最終的に埋立処分となる廃棄物量を1%以下とすること」と定めています。



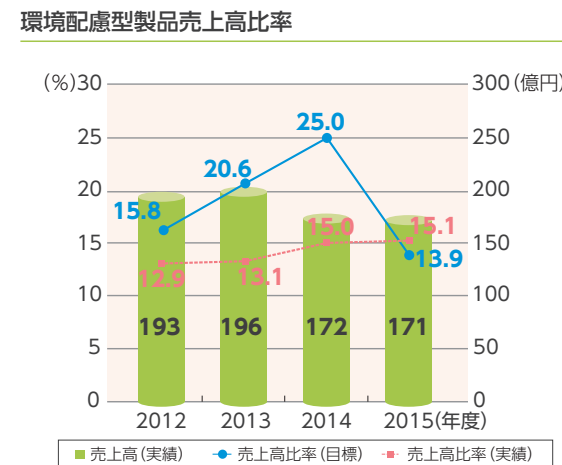
環境配慮型製品

環境負荷低減を企図した環境配慮型製品*4の開発と提供に取り組んでいます。2014年までは、中期経営計画を基に目標を設定していましたが、2015年度は各部門の販売計画を基に全製品中の売上高比率13.9%を目標に活動しました。

2015年度の比率は15.1%となり、目標を達成しました。

*4 環境配慮型製品
地球温暖化防止、化学物質による汚染防止、環境リスク低減、資源循環、自然エネルギー・非枯渇資源の活用など地球環境の保全と社会の持続的発展に貢献する一連の製品群です。

粘着剤	シロップタイプ(無溶剤型)、エマルジョンタイプ(水系)、ノントルエンタイプ(トルエン不使用)、高揮発分タイプ(溶剤減量型)
特殊機能材	アクトフロー®(無溶剤型樹脂改質剤)、トルエンフリーサーモラック(トルエン不使用)
加工製品	JETテープ®(無溶剤型粘着剤使用の粘着テープ)
微粉体	MPシリーズ/MZシリーズ(プロセス改善による廃水量削減)
装置システム	熱媒ヒーター(燃料転換および排熱回収)、VOC回収装置



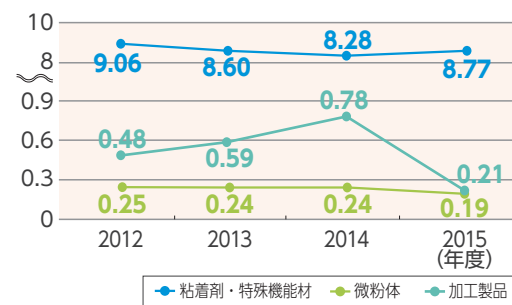
地球温暖化防止

設備の更新や運用管理の改善などをはじめとし、さまざまな方策により地球温暖化防止活動を推進しています。評価指標として、生産部門では、製品分野ごとの環境効率(生産量/生産に関わるCO₂排出量)により、直接生産に関わらない非生産部門では、CO₂排出量によって評価しています。

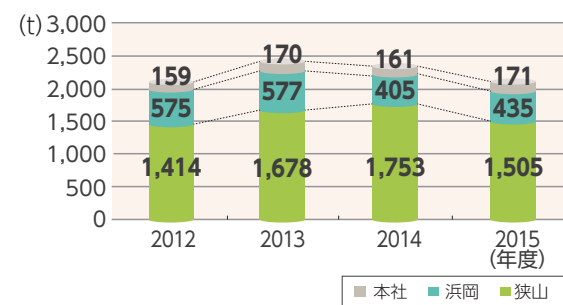
環境効率とCO₂排出量

粘着剤・特殊機能材製品の環境効率は、前年度に比べて向上しましたが、微粉体製品および加工製品は生産量の減少により低下しました。非生産部門においては、狭山事業所における大型試験機器やクリーンルームの計画的な運転などにより、CO₂排出量が2,318tから2,111tとなり、約9%削減できました。

環境効率(粘着剤・特殊機能材、微粉体、加工製品)



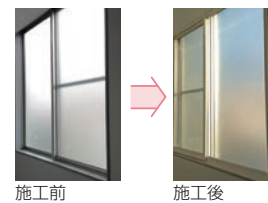
非生産部門のCO₂排出量



2015年度の取り組み事例

事例 01 事務棟の窓の遮熱化(狭山事業所)

エアコンの消費電力を削減させるため、日差しが強く差し込む部屋を調査し、その部屋の窓に遮熱フィルムや二重サッシを施工しました。施工した部屋はエアコンの設定温度を上げても、施工前よりも涼しく感じるので、電力削減の効果が楽しみです。



事例 02 ドラム缶用ポリシールキャップの再資源化(浜岡事業所)

ドラム缶の廃ポリシールキャップは、これまでは焼却処分としていましたが、RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) として、分別することで再資源化できる委託先を発見し、焼却廃棄物の排出を抑制しました。



事例 03 正門夜間照明および正面玄関車寄せ照明の節電(浜岡事業所)

事業所照明のLED化を進めており、正門夜間照明と正面玄関車寄せ照明をLEDに変更しました。実施後、正面玄関車寄せの照明は約60%の節電、正門夜間照明は輝度が十分に確保できたため、照明の台数を減らして約80%の節電が期待できます。



化学物質による環境負荷の低減と臭気・騒音対策

安全な事業活動を継続するために、関連法規等の遵守に加え、対象となる化学物質を適切に取り扱うことで環境中への放出を抑制しています。また、事業活動に伴い発生する騒音、振動を抑制するための対策にも取り組んでいます。

PRTR対象物質^{*1}

2015年度に取り扱ったPRTR対象物質は、排出量10.3t(前年度11t)、移動量48t(同60t)となりました。排出量、移動量とも前年度より削減できています。

*1 PRTR対象物質
PRTR制度(化学物質排出移動量届出制度)に基づき、排出量、移動量の届出が義務付けられた化学物質のことをいいます。

製品SDS(安全データシート)の提供

製品をお客様に安全にご使用いただくため、全製品のSDSを提供しています。今後の法令改正に伴う規制強化、新たな危険・有害性情報を迅速に反映できるように、SDS管理システムを導入して運用しています。

騒音・振動対策

法的基準値以下の維持継続のため、騒音発生源に対する緩和処置・遮蔽、騒音発生作業の見直し、工事実施前の環境影響評価による予防措置を実施しています。前年度に引き続き、狭山事業所北側の敷地境界線の騒音測定を実施し、基準値以下であることを確認しています。

VOC(揮発性有機化合物)・臭気対策

VOC物質の発散による臭気漏洩、大気汚染を防ぐため、VOC発生源の遮断、脱臭設備の増強などの対策を進めています。2015年度は、新たな設備導入は行ないませんでしたが、前年度に引き続き定期的に臭気測定を実施しています。

2015年度の取り組み事例

事例 04 リンクドラム回収頻度の低減によるCO₂排出量の削減(浜岡事業所)

回収効率の見直しにより、輸送に関わるエネルギー消費を削減しました。特に、大口顧客のドラム回収のタイミングを調整することで、輸送回数を減らしてCO₂排出量を削減しました。



事例 05 洗浄用溶剤回収装置の運転方法見直しによる省エネ(浜岡事業所)

運転条件を見直すことで平日の作業効率を向上させ、休日の洗浄用溶剤回収作業を停止することができました。洗浄用溶剤の回収量を維持したままで、休日のポンプ等の動力およびボイラーのエネルギー使用量を削減しました。



事例 06 老朽化した冷却水用ポンプの高効率化(浜岡事業所)

反応制御のための冷却水用ポンプが老朽化したため、10台を高効率ポンプ(IE3モーター)に更新しました。省エネの定量的検証はこれからですが、これにより、従来に比べ20%前後の電力削減を見込んでいます。



事業所データ

狭山事業所

狭山事業所は環境配慮型製品をはじめとした製品の開発・製造を行っています。周囲には住宅が立ち並んでいるため、周辺環境に配慮した事業活動が要求されています。2015年度は、省エネルギーのための施策を重点的に進めました。まず、事業所全体でスチーム流量計の設置を建屋ごとに行ない、各建屋で消費する熱エネルギーを定量的に管理できるようにし、これからの省エネルギー活動に役立てたいと考えています。また、事務棟でエアコンの消費電力を低減させるため、日差しが強く差し込む部屋を調査し、その部屋の窓に遮熱フィルムや二重サッシを施工しました。今後も、省エネルギー、環境負荷低減につながる取り組みを継続してまいります。



狭山事業所全景

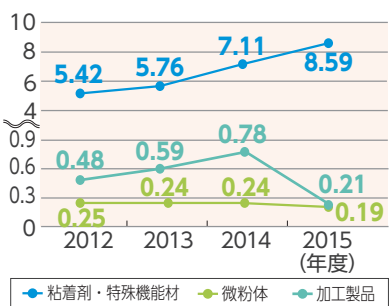


安全・環境・品質保証室
(前狭山工場長)

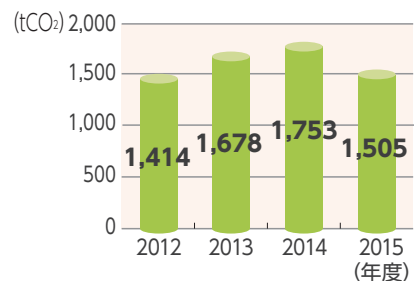
山崎 忠洋

- 事業所設置：1961年
- 敷地面積：28,795㎡
- 所在地：埼玉県狭山市広瀬東1丁目13番1号
- 主な事業内容：粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品の開発、製造

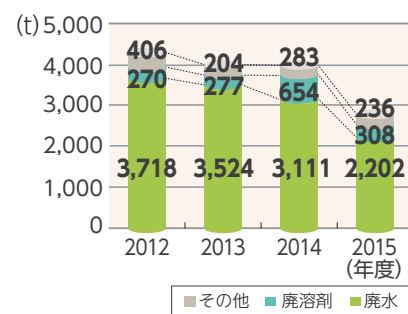
環境効率(粘着剤・特殊機能材、微粉体、加工製品)



非生産部門のCO₂排出量



廃棄物量



浜岡事業所

浜岡事業所は、量産工場・物流拠点としての役割を担い、お客様に高品質な粘着剤・特殊機能材を提供しています。2015年度は資源循環、省エネへの取り組みとして、生産工程で大量に使用する洗浄用溶剤の回収設備効率化(回収量前年比20%向上)を目標に掲げ、製造現場、設備担当者と運転条件の見直しなど、試行錯誤を重ねて実践した結果、28%の設備効率向上を実現しました。その他、夏場の空調機運転軽減を目指し、危険物倉庫屋根の遮熱塗装、自動倉庫外灯LED化、老朽化した冷却水ポンプの効率化(IE3モーターへの更新)を実施しています。今後も資源循環、省エネルギーを推進し、環境にやさしい事業所を目指します。



浜岡事業所全景

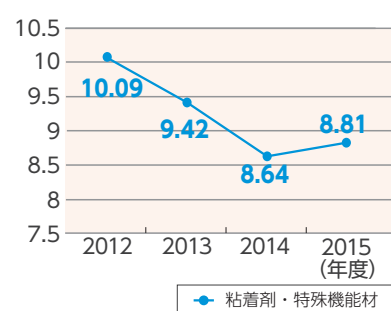


樹脂生産部
樹脂生産工場長

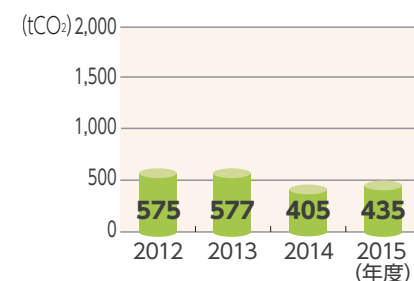
近藤 秀明

- 事業所設置：1992年
- 敷地面積：46,869㎡
- 所在地：静岡県御前崎市池新田8665番1号
- 主な事業内容：粘着剤、特殊機能材の製造

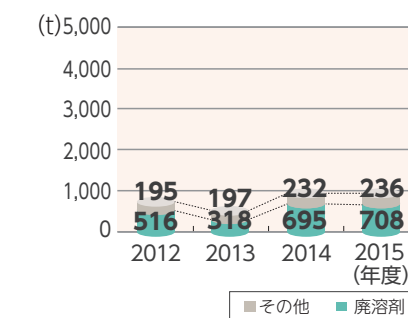
環境効率(粘着剤・特殊機能材)



非生産部門のCO₂排出量



廃棄物量



サイトレポート 中国グループ会社の取り組み

当社グループは、国内だけでなく海外グループ会社でも積極的に地球環境保全や社会貢献などの取り組みを実施しています。今回はグループ会社の中でも特に力を入れている2社をご紹介します。



社会的側面

防災訓練(綜研化学(蘇州))

綜研化学(蘇州)では、緊急時の対応力向上を図るため、防災訓練を年2回実施しています。2015年は工場内タンク漏洩事故を想定した訓練を実施し、各自の役割を確認するとともに応急処置訓練や消火訓練を行ないました。



防災訓練全景



消火訓練

お客様との共存(寧波綜研化学)

お客様に正確な情報を提供するために、展示会や顧客訪問などによるコミュニケーション強化に努めています。2015年は、第三回中国電子情報博覧会、寧波市消費者博覧会、寧波ハイテク取引会などに出展し、製品紹介等を行ないました。



第三回中国電子情報博覧会



ボランティア活動(寧波綜研化学)

社内ボランティアチームが2012年1月に結成され、現在、72名で地元の方々と協力して活動を行っています。2014年には「寧波市ボランティアサービス先進団体」を受賞しました。



環境保護活動



植樹活動

環境的側面

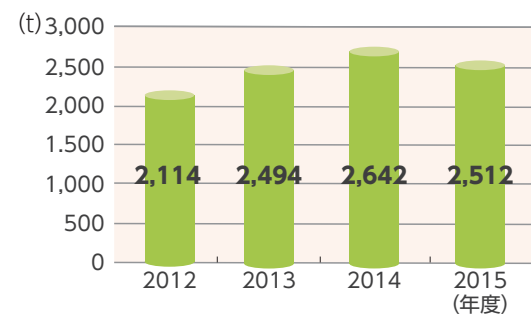
綜研化学(蘇州)

中国を取り巻く環境は、中国国内の化学工場の事故、環境問題により安全・環境への要求が高くなっています。エネルギー使用量は、前年に比べ生産量が減少した結果、減りました。また、微粉体の生産工程で発生するエマルジョン廃水において、社内で処理できる処理設備を導入し、排出物を外に出さないよう工夫し、廃棄物量の削減へとつながりました。主な取り組みとしては、作業現場での臭気対策、廃液削減などの改善活動を実施してきましたが、今後は工場内の臭気発生源に対し排出を含め根本的な改善が必要となっています。臭気対策として新たな設備を導入しましたが、これからも環境対策を加味した設備への切り替えを行なうなど、改善を行なっていきます。



安全環境管理部
部長
程立群

エネルギー使用量



廃棄物排出量



マテリアルバランス



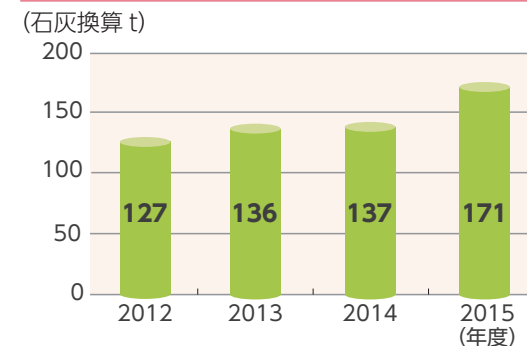
寧波綜研化学

寧波綜研化学は、グリーンで環境保護型製品の研究・開発を継続しています。また、有害廃棄物の発生を減らし、事業所内および周辺住民の皆さまに安心していただける環境を作り出すことを目指しています。2015年は、工業生産額が減少したため、エネルギー使用の割合は前年より高くなりました。また、廃棄物量に関しては、各部門が有害廃棄物発生を減らす管理法および廃液の回収利用法を明確にするなどの取り組みを続けたものの、少しではありますが増加しました。中国国内において環境意識が高まる中、今後も継続して環境負荷低減に努めていきます。

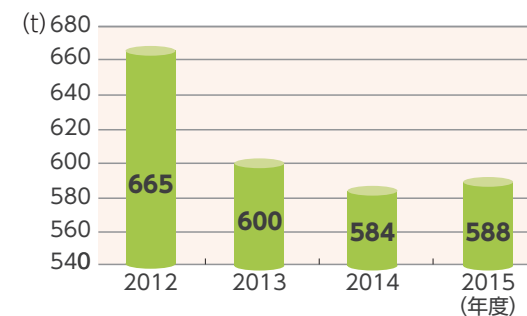


安全環境部
部長
梅舜偉

環境指標(売上高1万円あたりのエネルギー使用量)



廃棄物排出量



マテリアルバランス



Topics

蘇州工業園区の模範工場として

綜研化学(蘇州)では「安全・環境」整備に積極的に取り組み、蘇州工業園区の模範工場に認定されています。構内は5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)が行き届いて、定期的に勉強会も実施しています。今後も模範工場としての自覚を持ち、無事故・無災害への取り組みを行なっていきます。



安全第一が徹底されています



植樹活動の様子

排気ガス処理設備の導入

2015年より、工場から排出される有機ガスの処理装置を導入し、工場から排出されていた有機ガスを削減することができました。また同時に、工場内の臭気対策も行ない、臭気発生源を特定してダクト配管ラインを見直し、生産現場の作業環境の改善を実施しました。



排気ガス処理設備

Topics

社会・安全・環境報告書を発行

中国国内におけるCSRへの関心の高まりを受けて、2015年に初めて社会・安全・環境報告書を発行しました。企業としての社会的責任を果たすため、安全や環境に配慮した取り組みなどを紹介しており、今後も継続して発行していきます。



2015
社会・安全・
環境報告書



2016
社会・安全・
環境報告書

排気ガス処理設備の保守・保全

自社のメンテナンスと専門機関の定期メンテナンスを組み合わせることで、設備保全に努めています。また、専門測定機関の排気ガスの測定を四半期ごとを実施し、排気ガスの排出濃度が国家基準をクリアしていることを確認しています。



排気ガス処理設備